

インスタQRコード



うみかぜ 海風



14 海の豊かさを
守ろう



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



御前崎港管理事務所だより198号(R8.6)



官民連携で御前崎港をPR！「御前崎港視察会」を開催しました

5/29(金)に御前崎港の一層の利用促進を図るため、御前崎港で事業を展開する民間事業者や地元市とともに「御前崎港視察会」を開催しました。

今年で20回目となる視察会には県中西部地域の荷主企業をはじめ船会社など165名のご参加を頂き、御前崎港のセールスを行いました。

午前の部では御前崎市佐倉地区センターにて、港の概要、当港の主要取扱貨物である定期コンテナや完成自動車の取扱状況、利用にあたっての助成制度等について説明を行いました。

午後の部では御前崎港西埠頭の国際コンテナターミナルでガントリークレーンによる荷役作業、1～2号岸壁では自動車運搬船への積込みを控え、荷捌場にずらりと並んだ輸出自動車を視察して頂きました。

今後も御前崎港を、より一層ご利用頂きますよう、お願い申し上げます。



説明会(佐倉地区センター)



視察(国際コンテナターミナル)

(写真提供: 御前崎港ポートセールス実行委員会)

久々生海岸でコアマモの調査を実施

6/16(火)に御前崎港久々生海岸で、コアマモの群生調査が行われました。御前崎港では「カーボンニュートラルポート」の形成に向け、藻場の保全に伴う、CO2吸収による脱炭素化の取組みを行っています。

調査は藻場の面積を算定するためにドローンによる群生範囲全体の空中写真と水中面をどの程度覆っているかを確認する「被度判定」用の写真撮影が行われました。これらの写真をもとに分布面積及びCO2吸収量を算定し、「Jブルークレジット※」に申請します。

調査協力: (港湾協力団体)「NPO法人Earth Communication」

※海藻などの海洋生態系(ブルーカーボン)が吸収する二酸化炭素(CO₂)の量を定量化し、取引可能なクレジットとして認証したもの

(写真提供: 交通基盤部港湾局)



ドローンによる撮影状況



「被度判定」用写真撮影

マリーゴールドで元気チャージ！



鈴与花愛好会の皆さんが夏に向けて花壇の植替えをしてくださりました。ビタミンカラーのマリーゴールドの花壇は、見ているだけで気持ち明るくなります。

エコパークの花

ガクアジサイ(城ヶ崎/アジサイ科アジサイ属)



城ヶ崎(ジョウガサキ)は、八重咲きのガクアジサイです。東伊豆の城ヶ崎海岸で発見された自生種です。土質で花色の変化が楽しめるのも魅力で酸性土では青色、アルカリ性土ではピンク色になります。

御前崎港の見学を御希望の方は、お気軽に管理事務所まで御連絡ください。皆様のお越しをお待ちしております。

連絡先: 御前崎港管理事務所企画振興課 〒437-1623 御前崎市港6170-1
電話: 0548-63-3213 FAX: 0548-63-2173 メールアドレス: omaezaki-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp
ホームページ: <http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/omaezaki>



いっしょに、未来の地域づくり。

静岡県交通基盤部